

広報

えりも

2013

9月号

№.898

Public Relations Erimo



交通事故死ゼロ2,500日達成

日高管内での最長記録を更新中

平成18年10月10日から続いている交通事故死ゼロが8月13日深夜0時で2,500日を達成。

8月14日、灯台まつり会場で記念式典が行われ、名取哲哉日高振興局長が北海道知事からの感謝状と北海道交通安全推進委員会長の表彰状を岩本溥叙町長に伝達しました。

岩本町長は「2,500日達成は町民にとって大きな宝となります。3,000日を目標にまい進していきたいと思います」と決意を述べました。

これまでの日高管内での最長記録は、様似町の1,887日です。

第40回 えりもの灯台まつり

真夏の夜空に、1,500発の花火



8月14日から16日までの3日間、灯台公園を主会場に「第40回 えりもの灯台まつり」が開催されました。

天候にも恵まれ、歌謡ショーや花火大会などの催しに、お盆の帰省客ら25000人が訪れまつりを楽しみました。

14日午後1時、えりも小学校5・6年生による鼓笛隊パレードで「灯台まつり」が開幕。

夜の歌謡ショーには、布施明さんが「君は薔薇より美しい」、霧野摩周湖などを熱唱。元おニヤン子クラブの城之内早苗さんは、デビュー曲の「あじさい橋」などで会場を盛り上げました。

15日午後2時から、町民吹奏楽団とえりも中学校吹奏楽部のジョイントコンサート、スマップピースタンブ会主催のビンゴゲーム大会などの催しが行われました。

この日のメインである花火大会



14日、会場を盛り上げた布施明さん、城之内早苗さん、松島進一郎さん、スーパーパンツ（上から）による歌謡ショー



きれいな花を咲かせた花火

では、微風で絶好のコンディションの中、1500発の花火が夜空に大輪の花を咲かせていました。最終日16日の夜、えりも漁協女性部主催の「灯籠流し」がえりも港内で行われ、関係者は港口から沖へ向かう灯籠に手を合わせ、海難事故で亡くなった人々の魂を見送りました。



左上 市街地を演奏して歩く、えりも小学校の鼓笛隊パレード

左下 子どもからお年寄りまでが参加したマツカワの放流

右下 出店の前に並ぶ多くのお客さん





きれいに整備された汐見団地児童公園

地区住民の憩いの場を整備

7月29日、(株)ホロトラ建設興業（佐藤栄子社長）が地域貢献活動の一環として、大和地区の汐見団地児童公園の整備を行いました。

この日、午前11時から重機を使い作業を開始し、表土を削り平らに整地したあと、雑草が生えないように防草シートを敷き、その上にオリビンを敷き詰め、テーブルとイスを設置。

現場監督の佐藤博久専務は「子どもたちの遊び場や地区住民が気軽に利用してもらえるように整備しました」と話しました。

道路清掃で、きれいな町に

8月9日、えりも建設協会（菊地竹勇会長）が10日の「道の日」を前に道路清掃活動を行い、会員を含めた50人が参加。

出発式で菊地会長は「観光客にきれいなえりも町を見てもらいたい。協会として、少しでも地域社会に役立つ美化活動を行い、会員一人一人が道路をきれいにする努力をしましょう」と会員に呼びかけました。

会員らは、襟裳岬駐車場周辺や庶野・東洋方面の道路を6班に分かれ、約1時間で1.5トトラック1台分のゴミを拾い集めました。



道道襟裳公園線のゴミ拾いをする参加者



寄贈されたベッドと砂原支部長(右)、鍵谷施設長(左)

入所者や介助者の負担軽減のため

8月9日、浦河地方法人会えりも支部（砂原勲支部長）が社会貢献活動の一貫として、特別養護老人ホームやまと苑（鍵谷俊一施設長）へ介護用の低床式電動ベッド1台（時価55万円相当）を寄贈しました。やまと苑は平成6年に開設し、使用している電動式ベッドはいずれも木製で老朽化が進んでいるなかの寄贈に、鍵谷施設長は「ベッド寄贈は、大変ありがたいこと」とお礼を述べました。

同会は、今年6月にも各小学校へフッ化物洗口液保存用の冷蔵庫6台を寄贈。

有効活用してもらったために

8月15日、日高信用金庫（岡本豊理事長）は三脚スタンド式スクリーン携帯タイプ（7万円相当）を福祉センターへ寄贈しました。

同信金が平成23年4月に創立90周年を迎えたのを機に、青少年育成や環境整備、社会福祉などの地域貢献活動に取り組み、今年度も継続して行っている事業。

この日、福祉センター中会議室で、同信金えりも支店の中居知哉支店長から町教育委員会の川上松美教育長へ寄贈の趣旨を述べ、スクリーン一式を手渡しました。



寄贈されたスクリーンと中居支店長(右)、川上教育長(左)

夏休み自由研究

こんぶ体験ツアー

親子で「こんぶ」について学ぶ

8月3日と4日の両日、町内庶野地区で「ごさんこワイド」浜直「夏休み自由研究スペシャルこんぶ体験ツアーinえりも」(北海道漁連など主催)が行われ、札幌方面の小学生親子15組30人が参加し、昆布勉強会や昆布料理教室、昆布干しなどで漁家との交流を行いました。



真剣な表情で説明を聞く参加者

3日午後3時から庶野生活館で昆布勉強会が行われ、三戸充産業振興課長が町の漁業の概要や昆布の生育過程、漁期、漁法、選別など出荷されるまでの工程について映像で説明しました。

参加者からは「町の昆布採取をしている人は何人いるのか」、「地元の人たちはどんな昆布料理を食べるのか」などの質問が出されました。

勉強会では、生昆布の試食が行われ、参加者から「甘い」などの感想が述べられました。

また、自分たちの手で丸めた7斤ほどの乾燥昆布が各自にプレゼントされ大喜びでした。

漁協庶野女性部が講師を務めた昆布料理教室では、昆布チップや中華サラダなど4つのメニューのつくり方を教わり、試食も行いました。

夕食は、漁協庶野支所作業所へ移動し、時鮭や灯台つぶなど海の幸を

堪能して大満足の様子でした。

夜は、宿泊先となった庶野の旅館どんどんに戻り一日の疲れを癒しました。

4日、高波で昆布採取が中止となりましたが、漁港内で漁家の方々



参加者は、初めての昆布干し作業

よる昆布採取のデモンストレーションが行われ、参加者は船からトラックへの積み込みや昆布干しを体験しました。受け入れ漁家に分散して、昆布切りなどの作業も行いました。

本町地区に場所を移動した後は、えりも栽培センターで、三戸産業振興課長から中間育成中のマツカワ稚



昆布の干し方を学ぶ参加者

魚に関する説明を受け、ウニの試食もし、新鮮で濃厚な味に舌鼓を打っていました。漁協直売店では、豊富な品ぞろえの海産物の中から土産を購入していました。

襟裳岬・風の館の見学は、展望台から望遠鏡を使いゼニガタアザラシを探し、風体験コーナーで、普段体験することができない風速25斤を体感して子どもたちは大はしゃぎでした。

屋外の展望台へ移動した参加者は、襟裳岬の岩礁をバックに全員で記念写真を撮りました。

ツアーに参加した千歳市の富樫さん親子は「海が好きなのと子どもの夏休み自由研究のために参加しました」と話していました。

広報紙で見る町の歩み 昭和39年

襟裳小校舎火災や上水道水源地問題など

昭和39年度の吉田勘之助町長の町政執行方針は、目黒地区に漁港指定を受けるため、町単独で防波堤を構築する。幌泉市街に上水道普及を目指し、歌別川支流で水源地調査に着手。本町のマンジュ山に公営住宅団地造成と幌泉港埋め立て地を永久護岸にするなど。

幌泉小学校が3月に、校舎落成・開校90年を祝い、記念事業協賛会がグランドピアノや全教室にテレビを寄贈しました。

5月22日夜、襟裳小中学校校舎で火災が発生し、中学校校舎一部を残して焼失。児童らは、青年会館などに分散して授業を受け、11月に校舎、体育館が復旧しました。

9月号には、水道の水源地予定地として歌別川支流の用地を買収したと載っています。しかしその後、上歌別地区で軽種馬を育成していた田中牧場と、土地の境界を巡って紛糾したが、町が歌別川上流に水源地を変更し、牧場がその費用を負担することで和解。

木造の消防番屋を、鉄筋造庁舎と消防車格納庫に新築する工事が、役場庁舎裏で進められている様子を10月号が報じています。11月号に、庶野小学校（児童数215人）が創立70周年を盛大に祝ったことが載っています。

12月号では、小学校との併置で敷地が狭く、特別教室の設置が困難な東洋中学校を幌泉中学校へ統合する必要性について、同地区町民らの理解と協力を求めています。

目黒地区に、町内初の生活館と共同浴場が完成し、生活環境が大きく向上しました。

この年10月に、東京オリンピックが開催され、町内でテレビが普及し始めました。



復旧した襟裳小中学校校舎



沼見峠
(昭和14年以前)

負人杉浦嘉七が建立したものです。左上の写真は、昭和14年に発行された小冊子に掲載された写真です。2つの石碑、鳥居、帽子をかぶった洋装の女性、犬、お参りの籠などが写っています。当時、お参りがにぎやかであったことが想像できます。写真から、妙見神は祠の中に鎮座しており、現在と同じであったことがわかります。

えりもMUSEUM しりょうかん

猿留山道沼見峠の石碑

猿留山道、豊似湖（馬蹄湖、カムイトウ）を見下ろす沼見峠に建立された石碑2体です。左が妙見神（安政6年1859）、右が馬頭歡世音菩薩（文久元年1861）です。共に当時の場所請



左が妙見神
右が馬頭歡世音菩薩

猿留山道は、蝦夷地などの北方警備に不可欠な道路として、江戸幕府が寛政11年（1779）に開削した、蝦夷地最初の官製道路（国道）の1つです。日高山脈南端の山すそを抜ける道は「昼なお暗い難所」でした。その山道の峠に、杉浦嘉七は石碑を建立し、旅の安全と地域の発展を願ったのでしよう。馬頭観音は、近年、その多くは馬の供養を目的に建立されていますが、もともとは旅の安全、人畜の安全、地域の発展を願って建立されたものです。石碑2体と猿留山道は、えりも町文化財に指定されています。9月28日29日には、「猿留山道を歩く会」が開催されます。

Town News

—まちの便り—



放水訓練を行う中央保育所の児童

幼児期から火災予防の心がけを学ぶ

7月18日

日高東部消防組合えりも支署（高橋康慶支署長）は、中央保育所（岩間茂子所長）の年長組33人を招いて放水訓練や消防車などの乗車体験を行いました。

児童らは、同支署の久保田武予防係長から「火の用心」の大切さを教わり、ヘルメットや防火服を着用し消防士に変身。児童は2人1組になり、署員や女性消防団員のサポートを受けながら、火の的を目掛けて放水を行いました。

放水訓練後、救急車や消防タンク車への乗車を初体験し児童らは喜んでいました。

8月2日

ライダーへ事故防止を呼びかける

観光シーズンを迎えている中、日高振興局など関係機関による2輪ライダーへの安全運転啓発が行われました。

8月19日の「バイクの日」にちなんで啓発で、襟裳岬レストハウス前の駐車場で、日高振興局職員や浦河警察署など関係者7人が参加し、道内外から訪れたライダー一人一人に事故防止を呼びかけながら、ストップ・ザ・交通事故死と書かれた三角旗と眠気予防のハッカ入り紙おしぼり、ポケットティッシュ、居眠り事故の多い場所を記したロードマップを手渡しました。



事故の防止を呼びかける警察官



子どもは、スーパーボールすくいに夢中

親子連れで楽しい時間を過ごす

8月6日

えりも町交流館ひなたで「ひなたの夏まつり」が開かれ、親子連れで大にぎわいとなりました。

この日の午後から、スーパーボールすくいとお菓子キャッチのコーナーが設けられ、子どもたちは楽しい時間を過ごしていました。

また、お菓子やジュースなどの詰め合わせが当たるお楽しみくじも行われ、子どもたちは大喜び。

ひなたのスタッフは「大盛況だったので、今後もこのような催しを行っていきたい。」と話していました。

8月7日

七夕の夜に子どもたちの笑顔

本町商店街協同組合（西川一郎理事長）主催の「スマイルタウン七夕まつり」が灯台公園で開かれ、幼児から大人まで150人が集まりました。

勝ち抜きじゃんけん大会には、幼児から小学生までが参加。運を頼りに3組に分かれたグループは、主催者が「ゲー・チョキ・パー」どのカードを出すのか緊張の面持ち。勝ち残った4人はじゃんけんでは順位を決めました。

花火大会では、主催者から手持ち花火を受け取った子どもたちが花火を存分に楽しんでいました。



手持ち花火を楽しむ子どもたち



体育館の中で、盆踊りを踊る子どもたち

ひととき 真夏の一時を楽しむ

8月12日

東洋地区青少年健全育成会（藤井祐二会長）主催のお盆お楽しみ会が東洋小学校体育館で行われました。

会場には幼児からお年寄りまでが大勢集まり、父母らが販売する焼き鳥やジュースなどが売れていました。子どもたちは、くじ引きなどに夢中になっていました。

大人たちはお盆で帰省した家族や友人らと談笑し、楽しい時間を過ごしました。

お楽しみ会の最後に、町教育員会の増田仁学校管理係長から盆踊りの指導を受け、楽しく踊っていました。

8月14日

海の生き物に大喜び

14日と15日の2日間、襟裳岬・風の館で「海のいきものタッチプール」が開かれました。

水槽にはイソガニやツブ・ナマコなど海の生き物が沢山入っていて、子どもたちは自然と水槽の中にいる生き物に興味を示し集まり始めカニやウニなどを捕まえては、家族に見せて喜んでいました。

来館した家族は「海の生き物に触れることができ楽しかった。蝶々貝がムイ（オオバンヒラガイ）の中にあることを初めて知った」と話していました。



海の生き物に触れる子どもたち

生徒や住民の安全を考えて

8月17日

えりも高校PTA（山中智彰会長）会員18人が、町道高校通り線（旧しゃくなげ公園側）で草刈りを行いました。

この道路は、同校の多くの生徒が通学路として利用。夏場になると雑草が生い茂り、道幅を狭めるため、PTA会員は草刈機で雑草を刈り取り、レーキなどで集め1時間余の作業を行いました。

山中会長は「生徒の通学路でもあり、災害時は避難路としても大切なので、今後もPTAの活動として整備を継続していきたい」と話しました。



汗をかきながら、道路の草刈りを行うPTA会員

8月20日

フッ化物の利用を普及させるために

北海道教育委員会が道内小中学校の児童・生徒から募集した「フッ化物洗口の推進」イメージキャラクターの愛称に笛舞小（田中淳一校長）の工藤春乃さん（4年）の作品が優秀賞に選ばれ、同校で北村善春日高教育局長から工藤さんへ賞状が贈られました。

愛称募集に道内から1,291点の応募があり、工藤さんが応募した「フッティーくん」が優秀賞3点の中に選ばれ、管内唯一の受賞。最優秀賞には、胆振管内の生徒が応募した「フッティー」が選ばれました。



賞状を手にする工藤さん(左)と北村局長(右)

このハザードマップは、インターネットにつながることができれば、下のリンクからダウンロードすることができます。「わが家の

「わが家の防災メモ」には、避難場所や家族の集合場所などを書き込む欄があります。配布されたハザードマップは、家族の目につきやすい場所に掲示しておくとい

①については、自分が町内で出かけているときに地震にあっても、最寄りの避難所や、最終的に家族と合流する避難所の場所を確かめるために有効です。②については、道路地図と同じような感覚で車に入れておくと、いざというときに慌てずに避難経路を確認することができます。③のように、必ず目にする場所に貼っておくと、こまめに避難場所を確認する習慣をもつ

このハザードマップは、インターネットにつながることができれば、下のリンクからダウンロードすることができます。「わが家の



定池 祐季

北海道大学大学院理学研究院附属地震火山研究観測センター・助教、博士（文学）。中学生の時、奥尻島で北海道南西沖地震を経験する。公務員、NPO勤務、「人と防災未来センター」（神戸市）研究員を経て2011年4月より現職。



えりも町津波ハザードマップ

<http://www.town.erimo.hokkaido.jp/bousaijyohou2.html>

防災情報版 35

えりも町津波ハザードマップの活用方法

2003年9月26日午前4時50分頃、釧路沖深さ45キロを震源とするマグニチュード8.0

の地震が発生しました。えりも町本町では震度4、百人浜で4.0級の津波の遡上高が観測されました。また、庶野漁港では漁船巻揚げ施設が被害を受けてしまいました。

防災メモ」や、住んでいる地区や学校・職場やよく行く地区の浸水予測図／避難場所図を複数持っている、次のような使い方ができます。①手帳に挟んだり、カバンの中に入れて持ち歩く。②車の中にもう1冊入れておく。③地区の浸水予測図／避難所分布図を冷蔵庫に貼っておく。④離れて住む家族に書き込み後の「わが家の防災メモ」や住んでいる地域の浸水予測図／避難場所図を渡しておく。

いては、特に一人暮らしの方は、離れて住むご家族に、いざというときにどこに避難しているかお伝えし、非常時の連絡の取り方を確認するために活用することができます。9月1日の防災の日や、26日の十勝沖地震10年をきっかけに、もう一度「えりも町津波ハザードマップ」の内容を確認し、家庭での防災対策を見直ししてはいかがでしょうか。

こんにちはは保健師です

血圧をコントロールして生活習慣病を予防しよう

●身近な病気 高血圧

高血圧とは、全身に送り出される血液の圧力が高くなる状態で、正常血圧より高いと「高血圧」となります。えりも町では、生活習慣病の中で高血圧治療者が一番多く、40歳代から増え始め、60歳代では2人に1人が高血圧の治療をしています。

●さまざまな病気を招く

血圧が高くなると、自覚症状がない場合が多く、治療をしない、薬を自己判断でやめてしまう人がいます。血圧を高いままにしていると、血管がもろく（動脈硬化）なり、脳梗塞、心臓病、腎臓病などの重大な病気につながります。えりも町では、心臓病で亡くなる人が全国と比べても多く、介護保険

【正常血圧】

収縮期血圧→130mmHg未満
拡張期血圧→ 85mmHg未満

生活習慣の改善で高血圧を撃退！

- 塩分のとりすぎに注意！
男性：9g未満 女性：7.5g未満
高血圧の人は6g以内
- 野菜・海藻をよくとる
- たばこをやめる！
- 太っている人は体重を減らす
- 定期的な運動を心がける
- ストレスをためない
- お酒は飲みすぎ注意！



利用者の原因疾患は、脳梗塞が上位になっています。気づいた時には、症状が悪化していたということがないように、定期的な血圧測定や健康診断を受け、血圧が高くなっていないか確認しましょう。

9月の保健メモ

(連絡先 役場保健福祉課 保健予防係 ☎ 2-4630)

行 事	実施日	時 間	会 場
麻しん風しん混合予防接種	3日(火)、17日(火)	15:30~16:00	町立診療所 (要予約)
三種混合予防接種	3日(火) 10月1日 (火)	13:30~13:40	保健センター
B C G 予防接種		13:40~13:50	保健センター
四種混合予防接種		13:50~14:00	保健センター
ヒブワクチン予防接種		14:00~14:10	保健センター
小児用肺炎球菌ワクチン予防接種		14:10~14:20	保健センター
不活化ポリオ予防接種		14:20~14:30	保健センター
乳児健診		10日(火)	9:00~11:00
献血	11日(水)	13:30~16:00	保健センター
日赤巡回診療	11日(水)、25日(水)	13:30~14:30	保健センター (要予約)
マミィ (母親) 教室	12日(木)、19日(木)	13:30~15:30	保健センター (要予約)
二種混合予防接種	26日(木)	14:00~16:00	庶野診療所 (要予約)
離乳食教室(ゴックンベビークラス)	27日(金)	13:30~15:30	保健センター (要予約)
乳幼児健診	10月8日(火)	8:50~11:00	保健センター (個別通知)

●庶野診療所 (☎4-2219)

三種混合・BCG・麻しん風しん混合・ヒブ・小児用肺炎球菌、不活化ポリオ、四種混合の個別予防接種
①実施日……毎週月・木曜 (2日前まで予約)
②時 間……14:00~16:00

●浦河日赤病院 (☎0146-22-5111)

ヒブ・小児用肺炎球菌の予防接種
小児科外来にお申し込みください。

●町立診療所

麻しん風しん混合の予防接種
前週金曜日までに保健予防係へお申し込みください。



大勢の家族連れが訪れた親子盆踊り

去りゆく夏のひとときを楽しむ

8月10日、灯台公園で「親子盆踊り会と子どもお楽しみ会」(町市街地青少年育成協会主催)が開かれ、夕涼みがてらに会場して真夏の一夜を楽しみました。

今年は10日のみの開催となりましたが、天候にも恵まれ、親子連れ約300人が集まりました。

また、Cafe'So~daや祭本舗・風舞、えりも町青年団体連絡協議会の方々には出店協力をいただきました。

記念塔を中心に自然と踊りの輪ができ、浴衣姿の孫たちに付き添うお年寄

りの姿もあり、最後まで踊りに参加した子どもたちには、花火とお菓子をプレゼントされて喜んでいました。



浴衣姿で踊る子どもたち

生涯学習だより

新しい本

図書室だより

《一般書》

- 大泉エッセイ／大泉 洋
- いよう！／山田宗樹
- あずかりやさん／大山淳子
- はだかんぼうたち／江國香織
- 庭のリフォーム成功実例／ブティック社
- リファームスタイルブック／ネコ・パブリッシング
- 珈琲店タレーランの事件簿2／岡崎琢磨

《児童書》

- くりいむパン／濱野京子
- とびばこのひるやすみ／村上しいこ
- まじかる・ホロスコープ／田中由香利
- めざせ！パティシエ！スイーツ作り入門／神 みよ子

■アンパンマンとカラコちゃん／やなせたかし

■キリンがくる日／志茂田影樹



《おすすめ本》



爪と目

藤野 可織 著

「あなた」は眼科で父と出会う。「わたし」の爪と「あなた」の目も必ず出会う。娘と継母の嫌悪と快感を斬新な語りを描く芥川賞受賞作

子育てテレホンサービス ☎2-3715

- 8/30～ 9/ 5 「近隣との協力」について考える
- 9/ 6～ 9/12 「しつけ」の基本について考える
- 9/13～ 9/19 「受験前の子どもの心」について考える
- 9/20～ 9/26 判断力を養う
- 9/27～10/ 3 「子どもと遊び」について考える

音声テープによるサービスです。電話をかけると音声の流れ、各内容についてのアドバイスを聞くものです。
※会話はできません。

行事のお知らせ

「猿留山道を歩こう会」参加者募集

日 時 9月28日（土）、29日（日）
 場 所 28日 カルシコタン～沼見峠～豊似湖コース
 29日 342[㍿] 地点～ガロウの川～旧肉牛牧場コース
 主 催 「猿留山道を歩く会」実行委員会
 参加費 28日、29日それぞれ
 浦河集合 1人1,500円（小学生以上）
 えりも集合 1人1,000円（小学生以上）
 定 員 28日、29日それぞれ
 浦河集合 20人（先着順）
 えりも集合 20人（先着順）
 参加資格 6[㍿]の山道を歩ける健康な方。
 小学3年生以下は保護者同伴。

●お申込先

えりも町郷土資料館ほろいずみ
 担当 中岡・佐々木
 ☎2-2410（火曜日休館） FAX4-7966
 E-mail erimomus@cocoa.ocn.ne.jp

劇団四季「美女と野獣」芸術鑑賞会

日 時 11月2日（土） 13時00分公演
 場 所 北海道四季劇場（札幌市）
 主 催 えりも町生涯学習推進協議会
 料 金 3,000円（税込）
 参加人数 先着20人
 申込方法 広報10月号に折込まれるチラシをご確認の上、記載される期間内に、えりも町生涯学習推進協議会事務局（福祉センター）にお申込ください

町民芸術鑑賞会

日 時 9月27日（金）
 18時開場 18時30分開演
 場 所 福祉センター大会議室
 内 容 落語、漫才、ジャグリング
 主 催 えりも町文化協会
 料 金 高校生以上500円（税込）
 中学生以下無料
 チケット販売取扱い所
 新栄堂、セイコーマートえりも店・大和店、福祉センター、えりも町文化協会加盟団体

朝早くから元気よく体操を

7月29日～8月8日の11日間、福祉センター駐車場で「夏休みラジオ体操」が実施されました。

実施期間中には、小さなお子さんからお年寄りまで、幅広い年齢層の人たちに参加していただきました。



早朝から大勢の参加者

基本的な技術を学ぶ

教育員会主催の初心者テニス教室が、7月31日、8月2日、5日の3日間、スポーツ公園テニスコートで行われました。

参加者は、講師の佐々木智さん（硬式テニス協会）から、正しいラケットの握り方、ボールの当て方など基本的な技術を教わりながら、徐々にボールを打ち返せるようになり、上達する喜びを感じながら、さわやかな汗を流していました。



基本を練習を行う参加者

恵庭北高校野球部との夏季合宿

恵庭北高校野球部（部員44人）は野球の基礎づくりと体力強化を目的とした夏季合宿が、8月7日～9日にかけて町営野球場とえりも高校野球場で行われました。

合宿には、えりも高校野球部（部員7人）も参加し、2グループに分かれて、バッティング・守備練習に汗を流しました。

最終日には練習試合が行われました。

部員のみなさんには短い合宿日程の合間をぬって、町内の清掃奉仕活動もしていただきました。



合宿終了後、全員で記念撮影

犬や猫の管理について

公園や道路、その他私有地などで、犬や猫のふん尿による悪臭や放し飼いに由来する畑が荒らされるなどの被害が発生しています。

野良犬や野良猫であっても、餌付けをすると飼い主とみなされ、近隣住民に迷惑がかかれば、賠償責任が生じる場合があります。

餌をあげるだけで他の世話をしないという行為は、近隣住民はもちろん、犬や猫にも迷惑となりますので、野良犬や野良猫に餌をあげるのはやめましょう。

また、飼い主として散歩中にしたふんは必ず持ち帰り、ふん尿や鳴き声などで地域の方に迷惑をかけるないようにしましょう。



「ういず」の巡回相談

障がい者支援事業所「ういず」では、来所や電話、訪問による相談のほか、月に1度、役場保健センターで巡回相談を行っています。

一般的な相談は無料ですので、お気軽にご利用ください。

●9月の巡回相談日時

9月17日 10時～正午

●お問い合わせ先

〒057-0032 浦河町向が丘西2丁目568-66

☎0146-22-6246 (FAX兼用)

E-メール uizu@u-kouyouen.jp

高齢者・障がい者の人権あんしん相談

9月9日から15日までは、全国一斉「高齢者・障がい者の人権あんしん相談」強化週間です。

高齢者や障がい者に対する虐待や嫌がらせなど、高齢者や障がい者の人権に関する悩みごとや心配ごとについて、法務局職員や人権擁護委員が相談時間を延長して対応し、解決に導きます。

みんなの人権110番

☎0570-003-110 (全国共通人権相談ダイヤル)

●相談時間は次のとおりです。

9月 9日～13日 8時30分～19時

9月14日～15日 10時～17時

戦後海外から引き揚げて来た方へ

税関では戦後、海外から引き揚げて来られた方々からお預かりした未返還の保管証券類(終戦後、海外から引き揚げて来られた方々が上陸地の税関・海運局に預けられた通貨や証券など)をお返ししています。

返還の請求はご本人だけでなくご家族の方々でも構いません。お気付きの方は、お気軽に最寄の税関までお問い合わせください。

●お問い合わせ先

苫小牧税関支署総括監視官(総括部門)

☎0144-34-1953

「公証週間」のお知らせ

公証人は、法務大臣から任命され、関係者の依頼を受けて、遺言や金銭の貸し借り等に関する契約について、公正証書等を作成する公務に従事しています。

毎年、10月1日からの1週間を「公証週間」と定めています。

下記の日程で、相談を受け付けています。

●日本公証人連合会による「電話相談」

電話相談の期間と受付時間

期 間 10月1日～7日(土・日を含む)

受付時間 9時30分～12時

12時～16時30分

相談内容 公正証書による遺言、金銭の貸し借り・養育費の支払いの約束、任意後見契約など

相談員 日本公証人連合会所属公証人

●お問い合わせ先 ☎03-3502-8239 (代表)

●苫小牧公証役場による「夜間公証相談会」

日 時 10月1日、3日、7日

17時～19時

場 所 苫小牧公証役場(苫小牧市表町二丁目3番23号 エイシンビル2階)

相談内容 公正証書による遺言、金銭の貸し借り・養育費の支払いの約束、任意後見契約など

相談員 苫小牧公証役場 垂石善次

その他 ご相談は、いつも無料です。

ご希望の方は、前日までに、当役場に電話予約をお願いします。

●お問い合わせ先 ☎0144-36-7769

お知らせ



えりも町保健師の募集について

えりも町では、住民の健康づくりに意欲のある保健師を募集しています。

- 採用年月日 平成26年4月1日
- 採用人数 1人
- 採用時要件 30歳未満で保健師免許取得又は取得見込みの方
普通自動車免許取得又は取得見込みの方
- 提出書類 採用申込書、履歴書（写真添付）、保健師免許証（写）又は卒業見込証明書、学業成績証明書
- 申込受付期間・場所・方法
 - 受付期間 9月30日まで
 - 受付場所 北海道国民健康保険団体連合会
総務部保健事業課
〒060-0062
札幌市中央区南2条西14丁目国保会館
 - 受付方法 提出書類を郵送し受付期間内に受付場所へ必着するように提出してください。

※北海道国民健康保険団体連合会を經由しての募集となっています。

- お問い合わせ先
北海道国民健康保険団体連合会
総務部保健事業課
☎011-231-5161（内線1310）
※ホームページ「北海道のこくほ」（URL）
<http://www.hokkaido-kokuhoren.or.jp/>

えりも町保健師・看護師等奨学資金貸付

えりも町では、看護業務従事者等の確保をはかり地域医療の向上を目的として、保健師・看護師等奨学資金貸付を行っています。

- 申込資格 保健師助産師看護師法第19条、21条及び22条に規定する学校又は養成所に在学している人で、養成機関を卒業した後、2年以内にえりも町

の保健師・看護師等の業務に3年以上勤務する意思を有する人。

- 貸付期間 奨学生が在学する学校を卒業するまで
- 貸付金額 保健師・看護師養成機関に在学中の方
月額 50,000円
準看護師養成機関に在学中の方
月額 30,000円
- お申込手続き・お問い合わせ先
保健福祉課保健指導係 ☎2-4630

建設工事等入札（7月分）

えりも町で行った建設工事等の入札結果をお知らせします。

- 7月3日入札
 - 新浜教員住宅（No.31～32）解体工事
落札業者（有）野澤組
 - 東部送水管更新一連その1工事
落札業者（有）岡崎建設
 - 検満メータ更新その1工事
落札業者（有）東海林鉄工所
 - 検満メータ更新その2工事
落札業者 カワムラ設備
 - 検満メータ更新その3工事
落札業者 サキサカ設備
 - 橋梁長寿命化修繕計画策定委託業務
落札業者 ダイシン設計㈱
- 7月22日入札
 - 大和C団地公営住宅新築工事
落札業者 橋本・岡崎・尾上JV

住宅改修工事補助事業

えりも町住宅改修工事等補助事業の予算が残り1,734,000円（8月19日現在）となりました。

工事予定のある方は、お早めにご相談ください。

- お問い合わせ先
建設水道課建築管財係 ☎2-2114

交流館「ひなた」からのご案内

「敬老の日」にあわせ、幼稚園・各保育所の年長さんの子どもたちが描いた、おじいちゃんやおばちゃんの絵を展示していますので、ご家族でお越しください。

- 展示期間
8月20日～9月16日



作文、写真、標語等の掲示、その他労働衛生の意識高揚のための行事等の実施

●お問い合わせ先

浦河労働基準監督署
監督・安衛課 安全衛生係
☎0146-22-2113

9月11日は「警察の日」～警察の相談ダイヤル「#9110」～

警察では、身の回りにおける生活の安全等に関する幅広い相談に対応しています。また、警察業務についての要望や意見、苦情も受けています。

ダイヤル回線電話、IP電話等「#9110」でつながらない場合は、北海道警察本部の相談センター（011-241-9110）にかけてください。


相談内容により、外の専門機関を紹介する場合もあります。どうぞお気軽に相談してください。

●お問い合わせ先

浦河警察署 ☎0146-22-0110

♡ご厚志に感謝します

- 館田和子さん（本町）
 沢町自治会へ 30,000円
- 川上ケイ子さん（大和）
 西えりも連合自治会へ 30,000円
- 池田シン子さん（東洋）
 東洋第1自治会へ 50,000円
 やまと苑へ 50,000円
- ★ 社協のボランティアセンターへ
 川上ケイ子さん（大和） 20,000円
 庶野小学校PTA（庶野）
 庶野青少年健全育成会（庶野） 10,000円



童心は今も昔もたんぽぽ野
郭公の声をききつつ立つ厨

ぼうたんの色濃く咲きて去りがたし
小雨にも負けず園児の運動会

もりもりと空埋め尽くす若葉かな
木の影のゆたかに濃ゆし立夏かな

（えりも吟社）

佐々木蓉子
佐々木凌子
曾田つゆ子
鈴木周子
手塚澄子
小山内栄峰

弁護士相談センター無料相談（事前予約制）

会場	日程	時間
えりも相談所 （保健センター）	9/17・10/15	13:15 ～ 16:15
様似相談所	9/10・10/8	
浦河相談所	9/3・10/1	
静内相談所	9/2・4・9・11・18・25・30 10/2・7・9・16・21・23・28・30	13:30 ～ 16:30
予約受付	月曜日～金曜日 / 10:00～16:00 ☎0146-42-8373	



いぶき
伊吹くるみちゃん
（達也・ますみ）
H24.9.30生（新浜）

お兄ちゃんとダンスを踊るのが大好きな女の子です。



ふくいあきと
福井耀斗くん
（康兎・麻由子）
H24.9.14生（大和）

ボール遊びが大好き。優しく、活発な子になってね♡



いわましょうへい
岩間翔平くん
（孝太・千夏）
H24.9.4生（新浜）

パパと食べる事とアンパンマンが好きなやんちゃ坊主です。

あつまれ！一歳児



「すくのび」は、「すくすくのびのび育て」の願いを込めたタイトルです。

接客・待遇マナー講習会

どんな仕事でも接客が基本です。

人気講師の近村静代さんを招き、接客・接遇のマナーを身につけてみましょう。

- 日 時 平成25年10月19日 13時～15時
- 会 場 新ひだか町地域交流センターピュアプラザ 多目的室1・2
- 申込期間 10月7日まで
- お申込・お問い合わせ先
社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会
母子家庭等就業自立・支援センター
担当 工藤・外崎
〒051-0015 室蘭市本町2丁目2-11
(室蘭市保健福祉部分庁舎1階)
☎0143-83-7047 FAX0143-83-7048

法律無料相談会

母子家庭のお母さんや寡婦・父子家庭のお父さんが、養育費の取り決め履行確保・各種債務の返済等、解決困難な事例について、専門相談を受けられるよう、法律無料相談を行います。

- 日 時 平成25年10月19日 13時～15時
(受付 12時45分より)
- 会 場 新ひだか町地域交流センターピュアプラザ サークル室2
- 申込期間 10月7日まで
- 対象者 ひとり親家庭のお母さん・お父さん
- 定 員 3人(1人45分)
- 参加費 無料

巡回相談	法律相談会と同時開催いたします。
相談内容	母子家庭等の社会的自立を支援するために、福祉・求人情報の提供や生活全般にわたる相談を行います。
日 時	10月19日 10時～15時 (受付 9時30分より)
会 場	新ひだか町地域交流センターピュアプラザ サークル室2

- お申込・お問い合わせ先
社会福祉法人 北海道母子寡婦福祉連合会
母子家庭等就業自立・支援センター
担当 外崎・工藤
〒051-0015 室蘭市本町2丁目2-11
(室蘭市保健福祉部分庁舎1階)
☎0143-83-7047 FAX0143-83-7048

浦河赤十字病院にがんサロン開設

がんサロンは、がん患者や家族が気軽に療養上の悩みを語り合い、情報交換をする場です。6月から浦河赤十字病院にがんサロンが開設されています。

北海道の委託事業として行われおり、サロンはがんに関する正しい情報を入手することができ、相談会も行われています。

- 日 時 毎月第3木曜日 13時～16時
13時～15時 サロン
15時～16時 相談会(個別で対応)
- ※6月20日～平成26年3月13日
- 場 所 浦河赤十字病院2階講堂B
- 対象者 がん治療中の方、がん体験者、その家族
- 参加費 300円(実費)
- 定 員 20名
- お問い合わせ先
北海道委託がん患者相談支援体制整備促進事業事務局(担当:引地)
委託事業実施団体 アスパラの会
☎011-802-1028
E-mail asparanokai@gmail.com
※電話又はE-mailでお問い合わせください。
※メールの場合、参加地域を浦河と記入のうえ、お名前・連絡先・相談会参加の有無をご連絡ください。

25年度全国労働衛生週間

厚生労働省では、事業場における労働衛生意識の高揚を図るとともに、自主的な労働衛生管理活動の一層の促進を図ることを目的とし、下記の期間で全国労働衛生週間を実施いたします。

- 期 間 10月1日～7日
- 準備期間 9月1日～30日
- スローガン 「健康管理 進める 広げる 職場から」
- 実施事項
ア 事業者又は総括安全衛生管理者による職場巡視
イ 労働衛生旗の掲揚及びスローガン等の掲示
ウ 労働衛生に関する優良職場、功績者等の表彰
エ 有害物の漏えい事故、酸素欠乏症等による事故等緊急時の災害を想定した実地訓練等の実施
オ 労働衛生に関する講習会・見学会等の開催、

人のうとき

(平成25年7月31日現在)

近浦	174人	69世帯
笛舞	286人	114世帯
大和	980人	430世帯
本町	913人	405世帯
新浜	706人	306世帯
歌別	347人	132世帯
東洋	392人	133世帯
えりも岬	549人	208世帯
庶野	719人	276世帯
目黒	156人	75世帯
合計	5,222人	2,148世帯
(男 2,605人 女 2,617人)		
転入	10人	転出 19人
出生	3人	死亡 3人

税の納期

- ◆国民健康保険税 第2期
(納期限 平成25年9月30日)
- ◆町道民税 第2期
(納期限 平成25年9月30日)



町立診療所・庶野診療所の診療表

●受付時間・電話番号

町立診療所(☎2-2265)
8時30分～11時30分
13時00分～16時30分

庶野診療所(☎4-2219)
9時00分～11時30分
14時00分～16時30分



		月	火	水	木	金
		9/2	9/3	9/4	9/5	9/6
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	○
		9/9	9/10	9/11	9/12	9/13
町立	内科	○(代診)	○(代診)	○(代診)	○(代診)	午前のみ(代診)
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	○
		9/16	9/17	9/18	9/19	9/20
町立	内科	休診	検査日	○	○	午前のみ
	外科		○(代診)	午前のみ(代診)	午前のみ(代診)	○(代診)
庶野診			○	○	○	休診
		9/23	9/24	9/25	9/26	9/27
町立	内科	休診	検査日	○	○	午前のみ
	外科		○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診			○	○	○	○
		9/30	10/1	10/2	10/3	10/4
町立	内科	○	検査日	○	○	午前のみ
	外科	○	○	午前のみ	午前のみ	○
庶野診		○	○	○	○	○

○印は午前・午後とも診察

町立診療所

- ①9/9～13の内科は、医師不在のため代替医師となります。
- ②9/17～20の外科は、医師不在のため代替医師となります。

庶野診療所

- ②9/20は休診です。

都合により、診療表が急遽変更となる場合もあります。ご了承ください。

9月の行事

30日	29日	28日	27日	21日	18日	11日	7日
交通安全旗の波作戦(灯台公園/14時)	第33回道新カップ小学生バレーボール大会日高地区予選会(町民体育館/9時～17時)	猿留山道を歩こう会(猿留山道/29日)	町民芸術文化鑑賞会(福祉センター/18時30分～20時)	秋の交通安全運動週間(30日まで)	センター/優良13時～13時30分・違反14時～16時	人権講演会(えりも高校体育館/13時30分～15時20分) 運転免許更新講習(福祉センター/優良13時～13時)	帯広動物園飼育体験(帯広動物園/8日)



昨年の帯広動物園飼育体験

北海道・えりも町企画課 住所：北海道幌泉郡えりも町字本町206番地 電話：01466-2-2111

Eメール：erimo@sage.ocn.ne.jp FAX：01466-2-4633 発行日：平成25年9月3日